

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
47-2	紀伊水道西 構泊漁港海岸	勢井地区	農水（水産） 阿南市	823	⑤橘湾ゾーン	環境調和

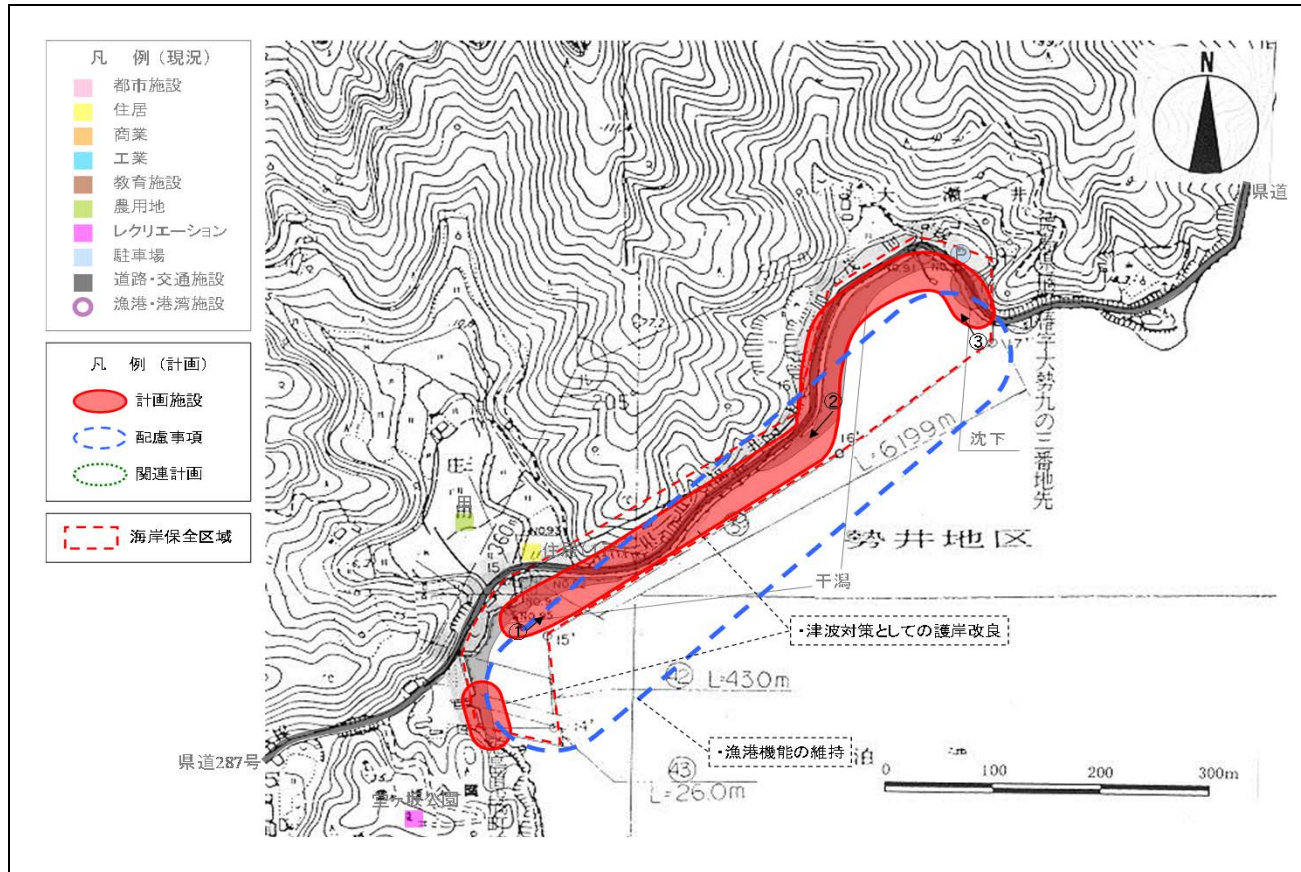
①海岸状況



②護岸状況



③護岸状況



- 凡 例（現況）
- 都市施設
  - 住居
  - 商業
  - 工業
  - 教育施設
  - 農用地
  - レクリエーション
  - 駐車場
  - 道路・交通施設
  - 漁港・港湾施設
- 凡 例（計画）
- 計画施設
  - 配慮事項
  - 関連計画
  - 海岸保全区域

海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。海岸環境の保全や漁港等の現状利用に配慮しつつ、施設整備を図る。
防護面	L1津波による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	学術上重要とされる生物（Dof等）の生息が確認されていることから、その生息環境の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。また、海域の閉鎖性が特に強いため、水質保全の観点から海水交換を妨げることのないように留意する。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-	
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	若干の劣化・風化・沈下が見られる。					
海岸保全区域の概況	前面には砂干潟がとなり、護岸自体は風化が進んでいる。護岸の沈下やクラックも確認できる。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜			
自然関係法令	-					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●			
海域環境	藻場	-	干潟	-	サンゴ	-
配慮すべき資源	貴重種（Dof：VU（魚類、移動あり））					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	改良の必要性あり					
海岸利用状況	漁港					
地域からの要請	-					

計画概要			
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。		
受益規模	約3ha	導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	漁港機能の維持		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
47-3	紀伊水道西 榑泊漁港海岸	榑川地区	農水（水産） 阿南市	1830	⑤橘湾ゾーン	環境調和

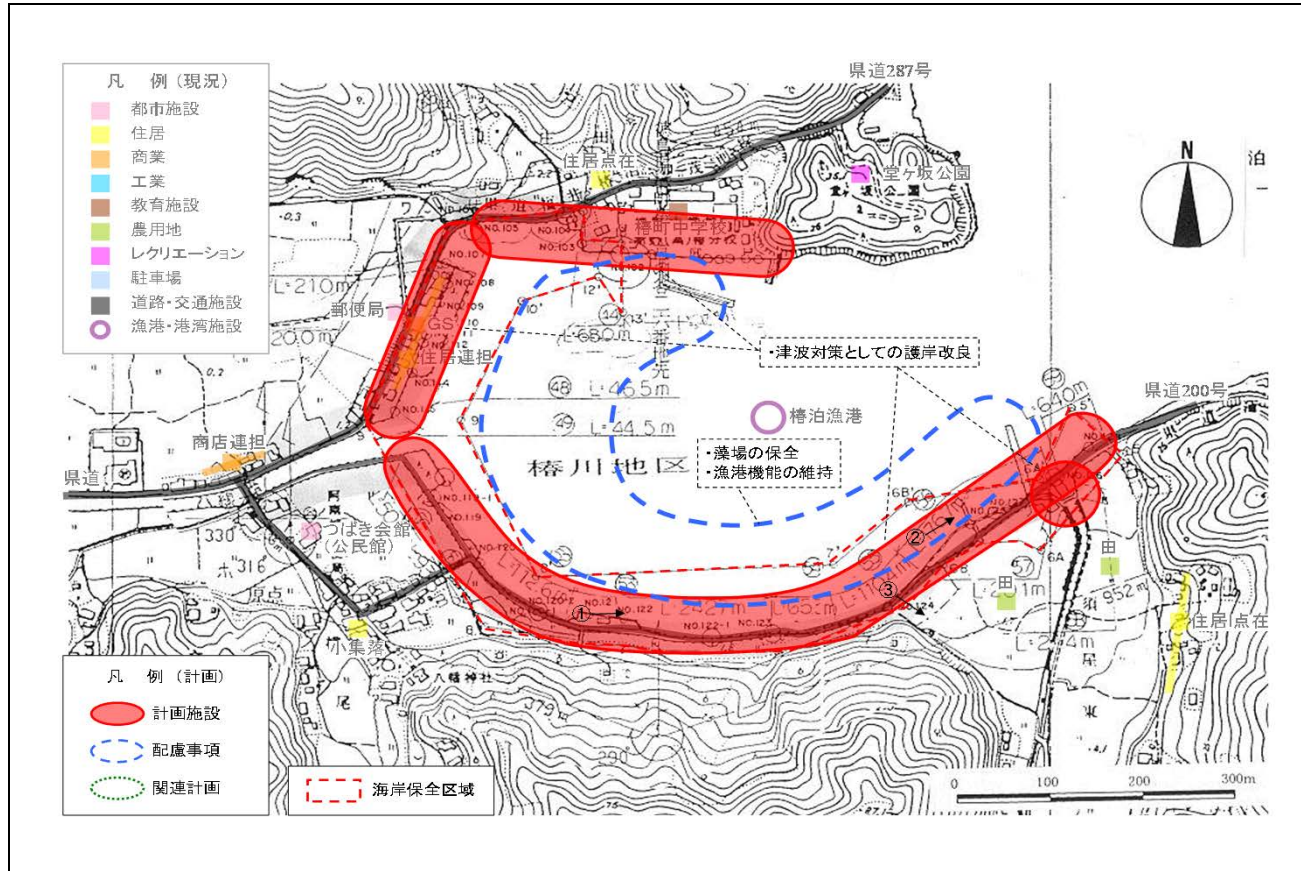
①海岸状況



②護岸状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。海岸環境や藻場の保全、漁港等の現状利用に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	学術上重要とされる生物（Dofa等）の生息が確認されていることから、その生息環境の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。また、海域の閉鎖性が特に強いため、水質保全の観点から海水交換を妨げることのないように留意するとともに、現存する藻場・干潟の保全に努める。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	A	優食対策ランク	-
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	風化・劣化が顕著に見られる。				
海岸保全区域の概況	護岸及び突堤が整備されているが、風化も進んでいる。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸		
自然関係法令	-				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●		
海域環境	藻場	●	干潟	●	サンゴ
配慮すべき資源	貴重種（Dofa：VU（魚類、移動あり））、藻場、干潟、多くの希少性ハゼ類が生息（県内有効の汽水域）				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	漁港				
地域からの要請	-				

計画概要	
計画概要	津波・高潮対策としての護岸の改良等を行う。
受益規模	約10ha 導入事業 津波・高潮、高潮
配慮事項	藻場の保全



No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
47-4	紀伊水道西 樺泊漁港海岸	高瀬地区 農水(水産)	阿南市	781	⑤橋湾ゾーン	環境調和

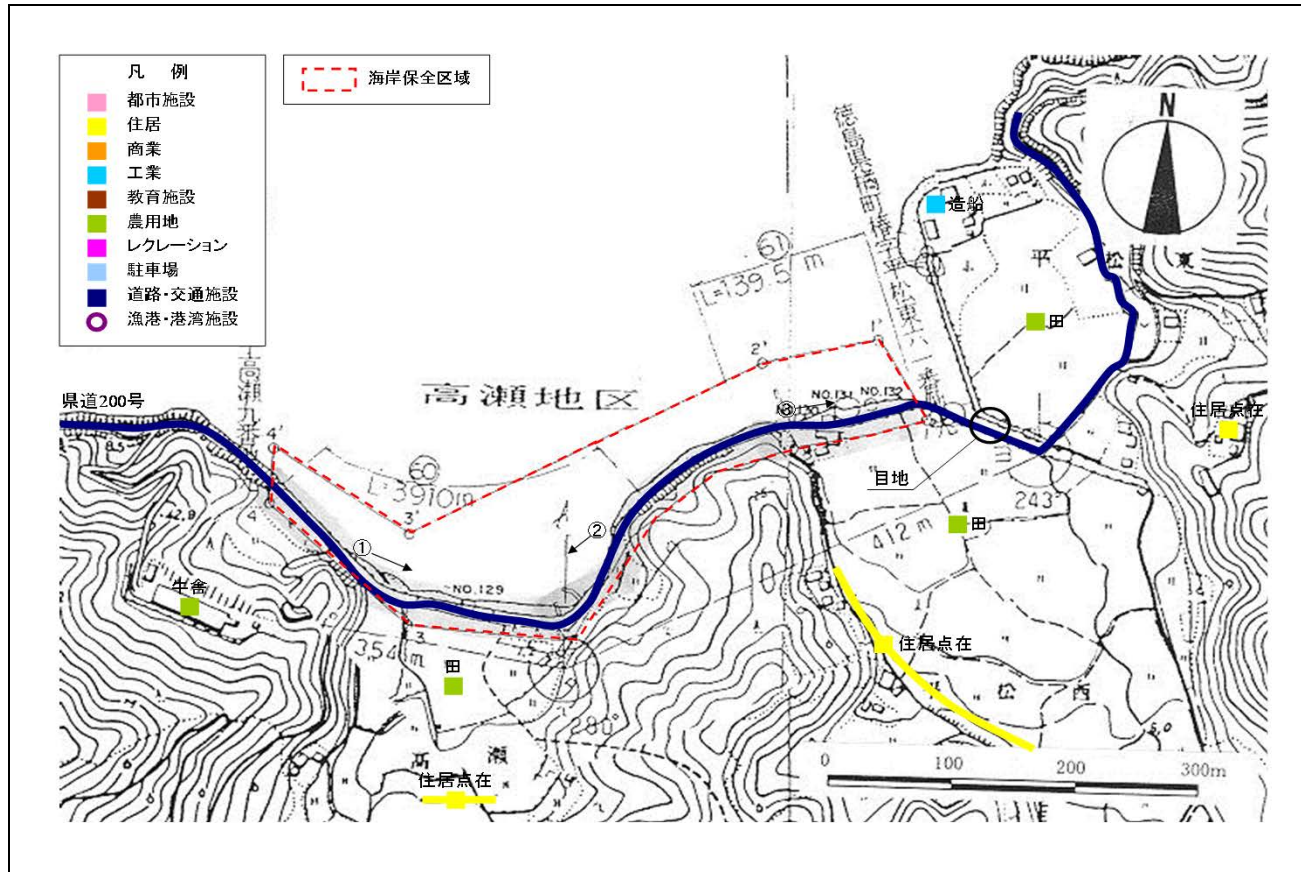
①海岸状況



②海岸状況



③海岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸環境の保全や漁港等の現状利用に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	学術上重要とされる生物(ワウチ等)の生息が確認されていることから、その生息環境の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。また、海域の閉鎖性が特に強いため、水質保全の観点から海水交換を妨げることのないように留意するとともに、現存する藻場・干潟の保全に努める。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防・突堤			
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。					
海岸保全区域の概況	護岸前面は砂・砂利が堆積しており、遠浅の海岸である。護岸自体はやや古いですが、機能的に問題はないと考えられる。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	磯浜			
自然関係法令	-					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	●			
海域環境	藻場	-	干潟	-	サンゴ	-
配慮すべき資源	貴重種(ワウチ: VU(魚類、移動あり))					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	漁港					
地域からの要請	-					

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	- 導入事業 -
配慮事項	-

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
48	紀伊水道西	小島地先海岸	—	国土（水管理）農水（農村）	阿南市	390	⑤橋湾ゾーン	環境調和

①海岸状況（全景）



②護岸状況

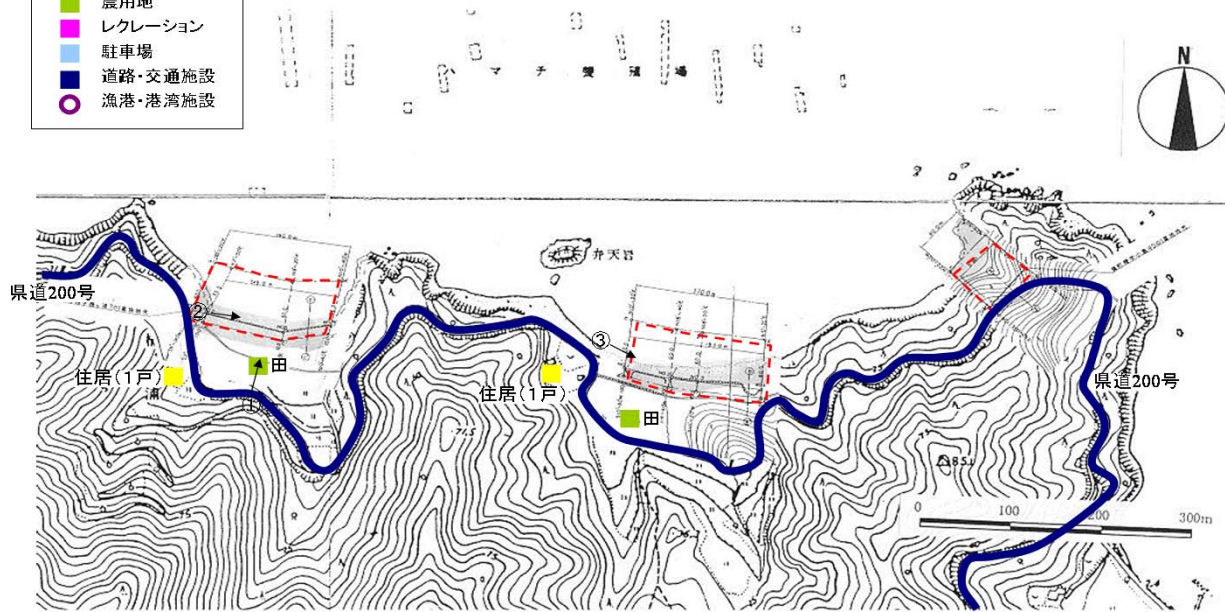


③海岸状況



- 凡例
- 都市施設
  - 住居
  - 商業
  - 工業
  - 教育施設
  - 農用地
  - レクリエーション
  - 駐車場
  - 道路・交通施設
  - 漁港・港湾施設

海岸保全区域



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、藻場の保全に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努める。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	A	侵食対策ランク	—
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防、消波工、樋門		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	護岸及び消波工が設置されている。背後には田が広がる。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	ブロック・護岸		
自然関係法令	—				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ
配慮すべき資源	藻場				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	隣接		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	なし				
地域からの要請	—				

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—



No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
49	紀伊水道西 尻杭地先海岸	—	阿南市	410	⑤橋湾ゾーン	環境調和

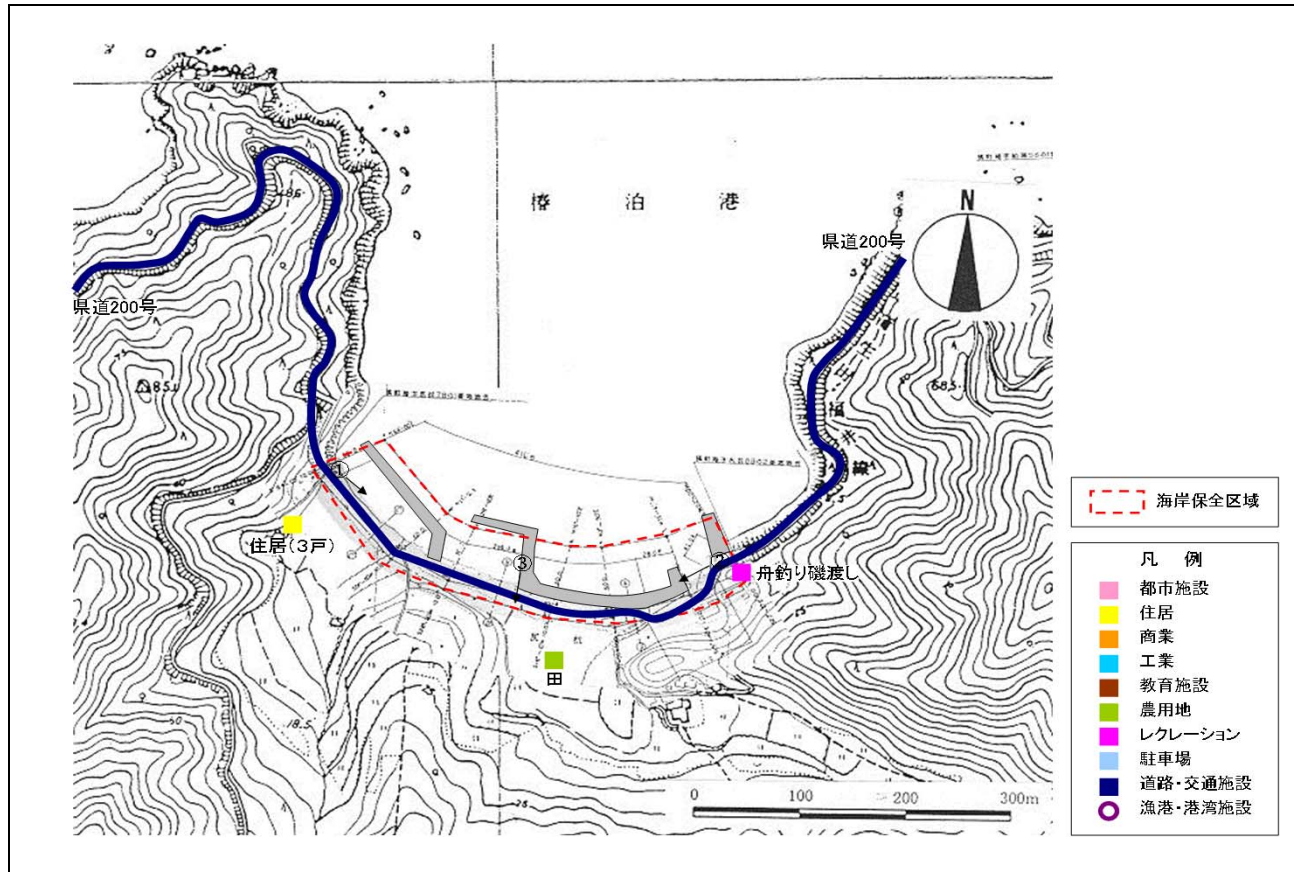
①海岸状況



②海岸状況



③護岸背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要性を考慮して、当面、藻場の保全に配慮した私設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努める。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	B
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防、消波工、突堤、樋門、舟通し		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	護岸前面には複数の突堤と消波工が設置されており、背後には田が広がる。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	ブロック・護岸		
自然関係法令	—				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ
配慮すべき資源	藻場				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	隣接		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	0				
海岸利用状況	なし				
地域からの要請	—				

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
50	紀伊水道西 船瀬地先海岸	—	阿南市	310	⑤橋湾ゾーン	利用促進

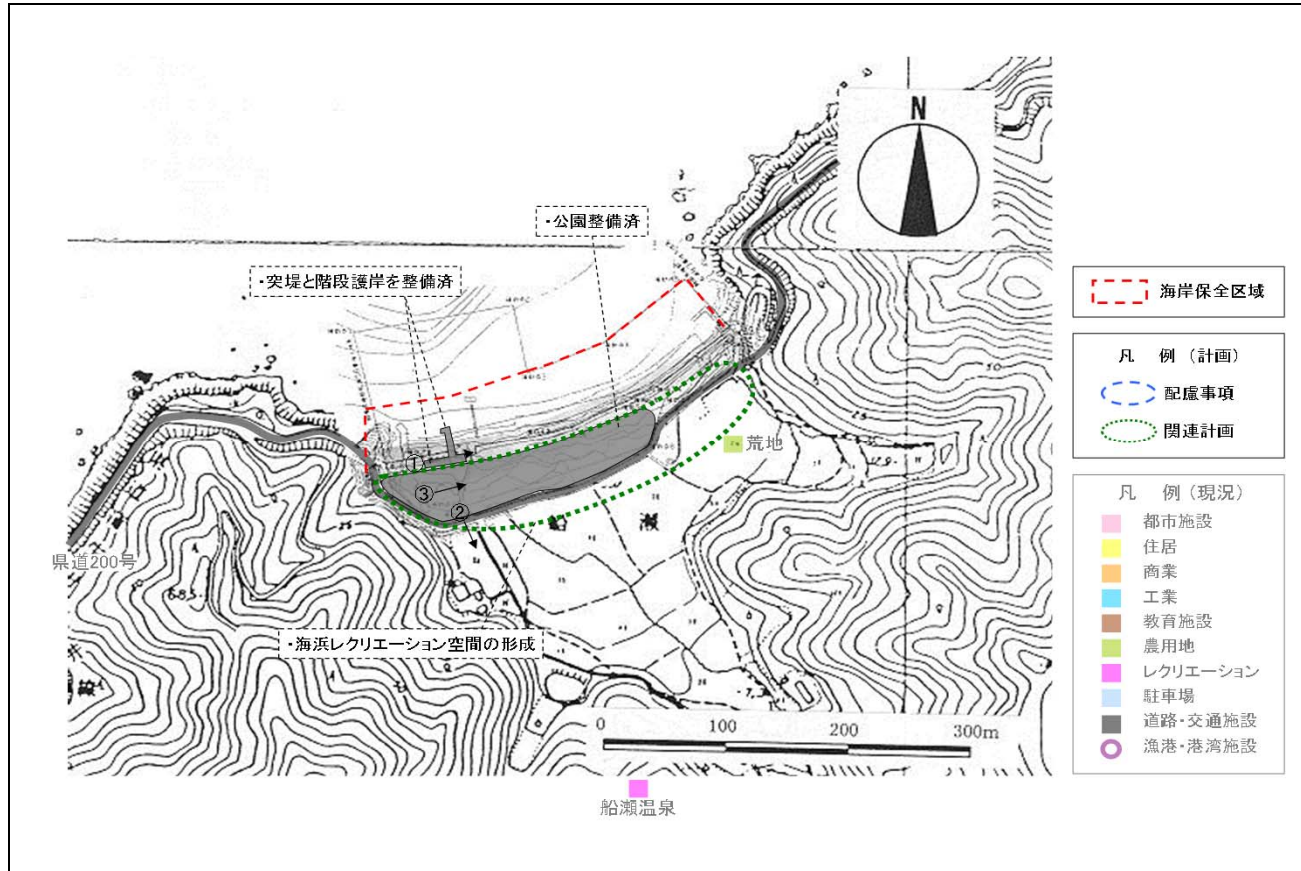
①海岸状況



②背後地状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要性を考慮して、当面、海岸利用を促進するための施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努める。
利用面	背後地に温泉やレクリエーション施設が整備されており、それと併せた親水空間の整備により海岸利用の促進を図る。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	C	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防、根固工			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	護岸前面に根固工が整備されており、その周辺には砂利が堆積している。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	隣浜・ブロック・護岸			
自然関係法令	—					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	隣接			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり					
海岸利用状況	海岸環境整備事業					
地域からの要請	海浜レクリエーション空間の形成					

計画概要			
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		



No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
51	紀伊水道西 蒲生田地先海岸	—	阿南市	810	⑤橋湾ゾーン	環境重視

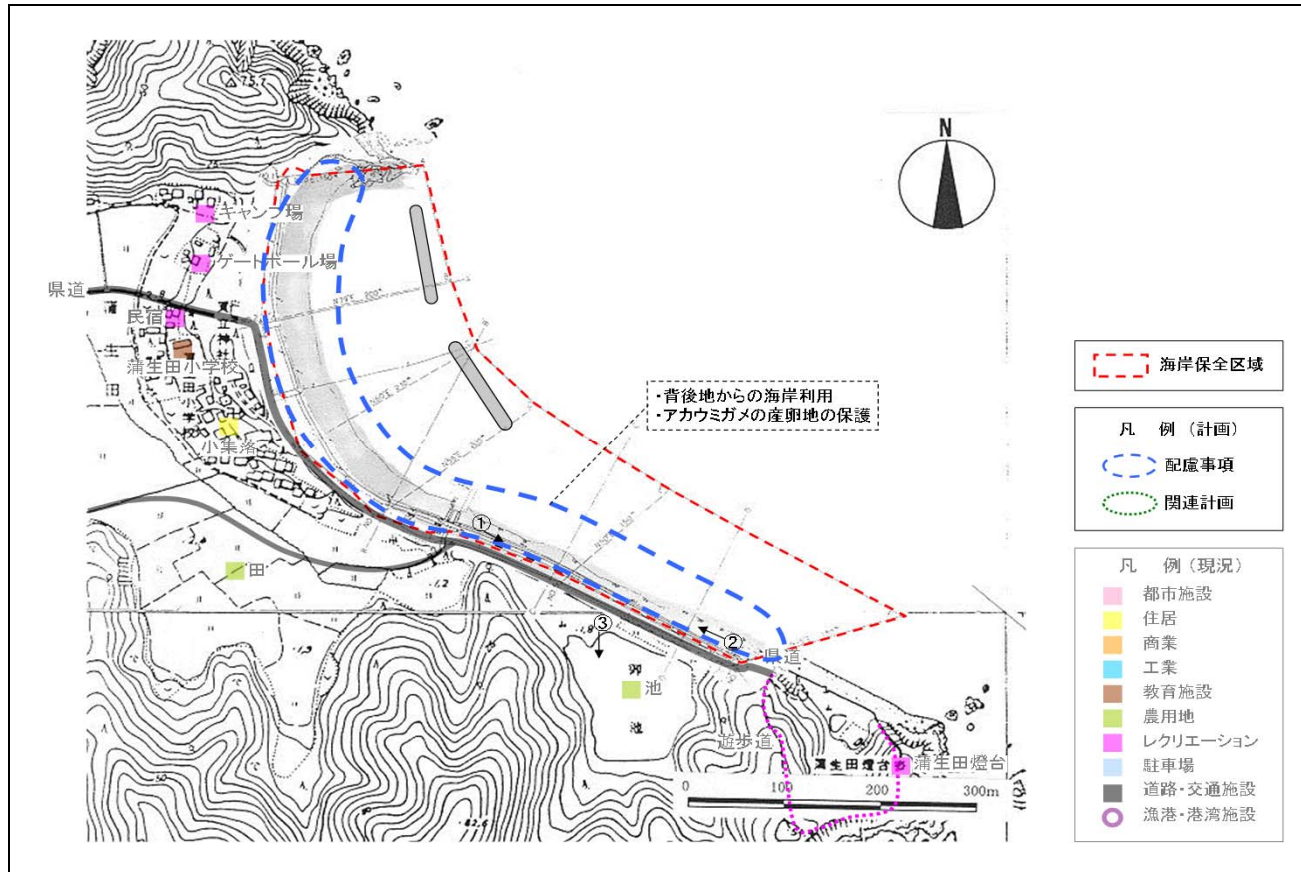
①護岸状況



②海岸状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、貴重な環境（アカウミガメの産卵地等）を有していることから、特に海岸環境の保全に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	天然記念物であるアカウミガメの産卵地、特定植物群落である蒲生田岬のウバメガシ林、蒲生田大池のアンペライ湿原群落といった蒲生田地先特有の貴重な自然の保護に努める。
利用面	環境学習等の利用があり、現状の親水性ある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	A	侵食対策ランク	B
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防、突堤、離岸堤、樋門		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	蒲生田岬の北側に位置し、護岸及び離岸堤が整備されている。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	保全	海岸の状況	砂浜・離岸堤・護岸		
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）、乗り入れ規制				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	● 干潟	— サンゴ	—	
配慮すべき資源	自然関係法令、蒲生田のアカウミガメ産卵地（県）、蒲生田のアンペライ自生地、乗り入れ規制、藻場、ウミガメの上陸産卵への配慮（砂浜の保全）				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり				
海岸利用状況	環境学習				
地域からの要請	アカウミガメ産卵地の保護				

計画概要	
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	アカウミガメ産卵地の保護、背後地からの海岸利用

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
52	紀伊水道西	伊島漁港海岸	—	農水（水産）	阿南市	300	⑤橋湾ゾーン	利用促進

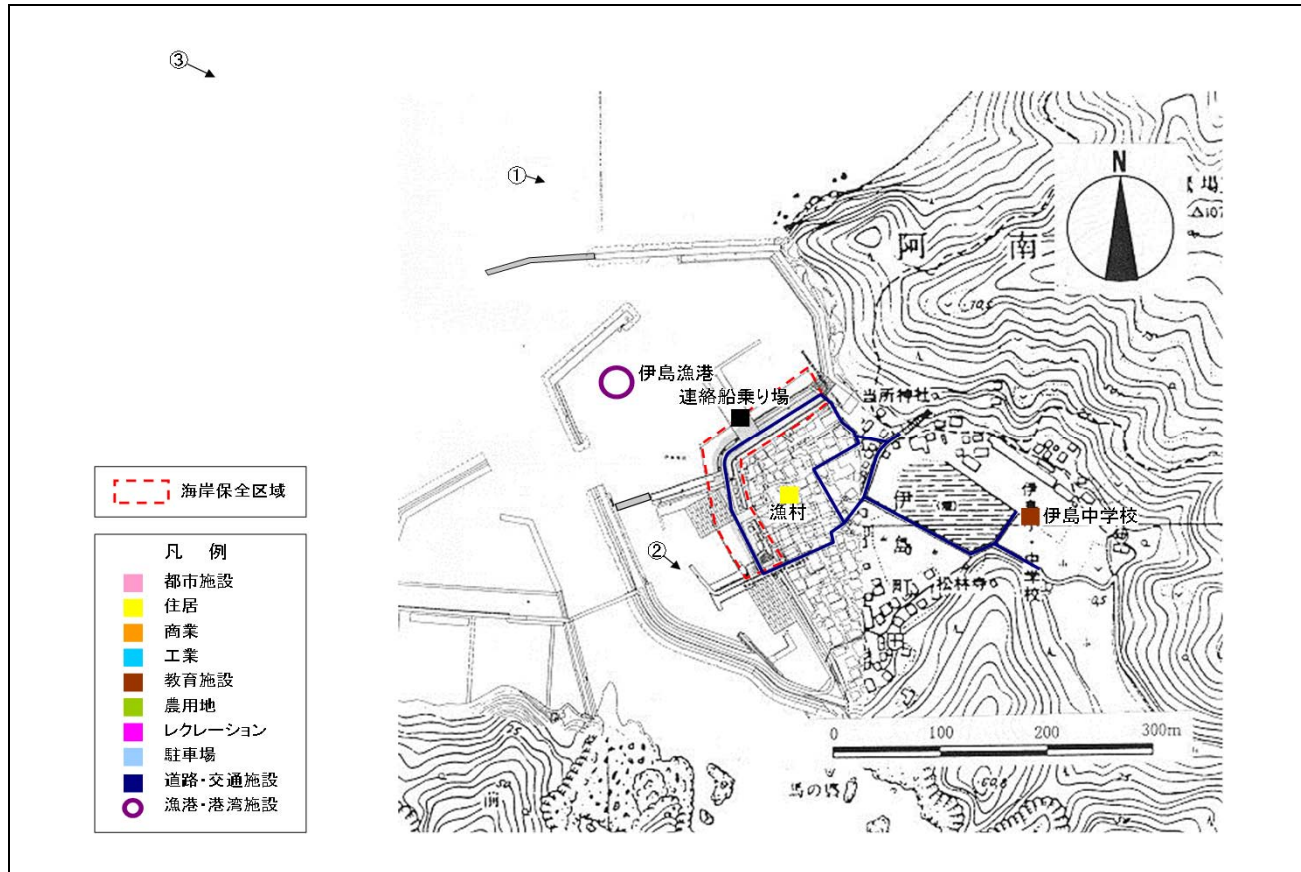
①海岸状況（全景）



②海岸状況



③海岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要性を考慮して、当面、海岸利用を促進するための施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	離島振興のための海岸利用のニーズが高く、レクリエーション拠点整備を計画中である。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	C	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。					
海岸保全区域の概況	前面は漁港として利用されて、背後は漁業集落である。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	磯・突堤・護岸			
自然関係法令	—					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	離島			
アクセス道路	車でのアクセス困難					
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり					
海岸利用状況	レク拠点整備計画					
地域からの要請	レクリエーション拠点の整備					

計画概要			
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		



No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
53	紀伊水道西	伊島海岸	伊島地区	農水（農村）	阿南市	497	⑤橋湾ゾーン	環境重視

①海岸状況（全景）

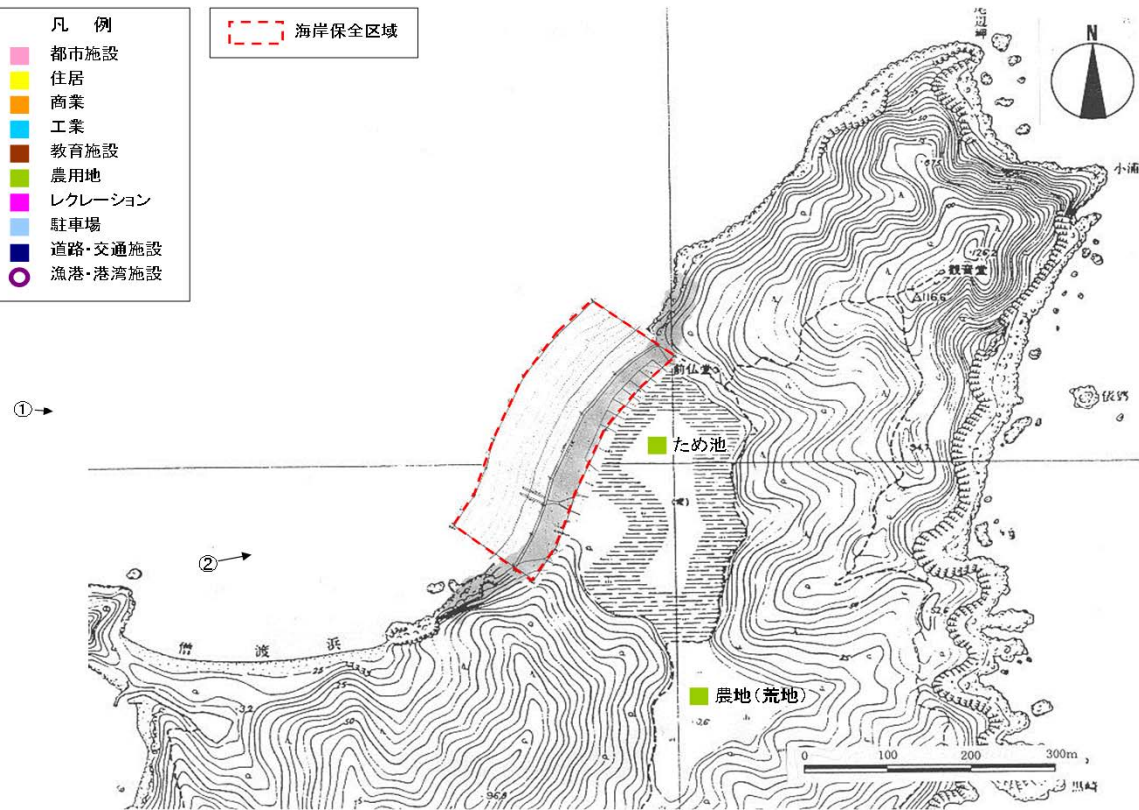


②護岸の状況



- 凡 例
- 都市施設
  - 住居
  - 商業
  - 工業
  - 教育施設
  - 農用地
  - レクリエーション
  - 駐車場
  - 道路・交通施設
  - 漁港・港湾施設

海岸保全区域



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要性を考慮して、当面、海岸景観の保全に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	自然景観の保全に努める。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	C	高潮対策ランク	A	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	離島におけるため池及び農地を保全するための施設である。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	保全	海岸の状況	磯浜・護岸			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第3種）、鳥獣保護区特別保護地区					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、伊島の暖地性植物群落（区域外）					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	2km以上			
アクセス道路	車でのアクセス困難					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	なし					
地域からの要請	—					

計画概要	
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—